

【イベント案内】

県立西丹沢自然教室

●ミニ企画展『西丹沢の展望』
 内容 実、西丹沢からはあの山もあの湖も見えるんです。展望を楽しむ山歩き提案です。
 日時：平成26年12月6日(土)～平成27年3月1日(日)
 問合せ：西丹沢自然教室まで。
 〒258-0201 足柄上郡山北町中川867
 TEL：0465-78-3940 ブログ毎日更新中！

県立秦野ビジターセンター

●自然教室「丹沢登山ははじめの一步」
 内容 丹沢登山の基礎知識を室内講義で学んだ後、大倉尾根で山の歩き方などを実践します。
 日時：12月13日(土)9:15～16:30
 集合解散：秦野ビジターセンター
 活動場所：室内と大倉尾根 大倉高原山の家まで。
 (標高差約300m)
 対象：高校生以上25名 ※応募者多数の場合は抽選
 参加費：1人1,500円
 締切り：11月27日(木)必着
 申込み：往復はがきに行事名、参加者全員の氏名、年齢、住所、電話番号を明記し、締切日必着で、秦野ビジターセンターまで。
 ※詳細は締切後、返信にてご連絡します。
 ●企画展「写真で見る丹沢の自然・今・昔」
 内容 丹沢を撮り続けてきた故奥野幸道氏の写真とともに、丹沢の自然の変化を見つめてみましょう。
 (協力：丹沢資料保存会)。
 期間：平成26年10月4日(土)～平成27年1月18日(日)
 場所：秦野ビジターセンター 展示室
 申込み：不要
 ※開館中はいつでもご覧いただけます。
 ※入館無料

県立丹沢湖ビジターセンター

●「ガイドウォーク」
 内容 旬の自然を観察しながら丹沢湖周辺をのんびり散歩します。ボランティアスタッフ「むしくさの会」の方々が案内・解説を行います。
 日時：①11月9日(日)
 ②12月14日(日)10:00～12:00
 (毎月第2日曜日)
 参加費：無料
 事前申込：不要
 集合：開始時間までに丹沢湖ビジターセンター玄関前にお集まりください。
 ※10名以上の場合はお問い合わせください。

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

●自然教室「仏果山で山座同定」
 内容 仏果山に登りながら地図の使い方や登山の知識を学びます。
 日時：12月6日(土)8:30～15:00頃
 集合解散：仏果山登山口
 対象：高校生以上20名 ※応募者多数の場合は抽選
 参加費：2,000円(資料代込み)
 締切り：11月25日(火)必着
 申込み：はがき又はFAXに行事名、参加者全員の氏名、年齢、住所、電話番号(FAXの場合はFAX番号)を記入し、締切日必着で、宮ヶ瀬ビジターセンターまで。
 ※詳しい参加要項は後日郵送でお知らせします。

2014
 11・12月号
 No.113

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

大忙しの冬支度 箱根ビジターセンター



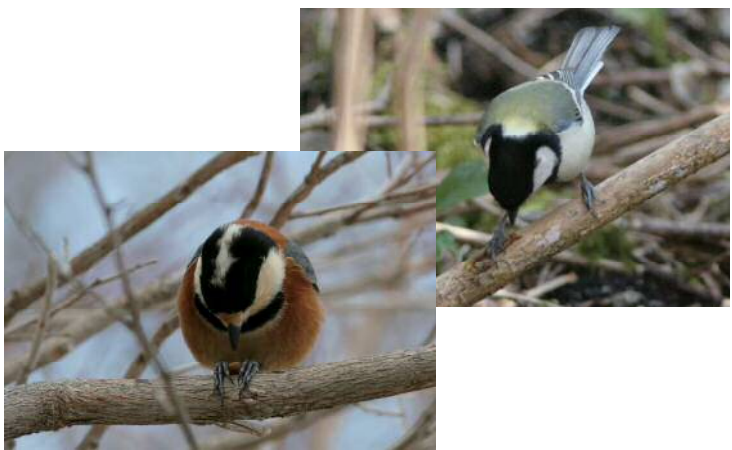
えさを探すウリ坊



タヌキ



シジュウカラ



虫を食べるシジュウカラ(上)と実をついばむヤマガラ(下)

自然公園へ出かけよう



休日のお知らせ
 県立ビジターセンター：月曜日(祝日開館)、祝日翌日(土日開館)
 1～3月第2木曜日(祝日開館)
 年末年始(12/29～1/3)
 箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、
 年末年始(12/28～1/1)

- | | |
|--|---|
| <p>県立宮ヶ瀬ビジターセンター
 〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
 Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
 開館時間 9:00～16:30
 (1/4～2/28は16:00閉館)
 http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/</p> | <p>県立丹沢湖ビジターセンター
 〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
 Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
 開館時間 9:00～16:30
 (1/4～2/28は16:00閉館)
 http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/</p> |
| <p>県立秦野ビジターセンター
 〒259-1304 秦野市堀山下1513
 Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
 開館時間 9:00～16:30(通年)
 http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/</p> | <p>県立西丹沢自然教室
 〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9
 Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
 開館時間 8:30～16:30
 (12/1～3/31は16:00閉館)
 http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/</p> |
| <p>県立陣馬自然公園センター
 〒229-0201 相模原市緑区佐野川659-3
 Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
 開館時間 9:00～16:30
 (12/1～3/31は16:00閉館)
 http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/</p> | <p>環境省箱根ビジターセンター
 〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根日礼場164
 Tel0460-84-9981
 開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
 http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/</p> |

森の木々が実るこの季節、あちらこちらでせつせと冬に備える生き物たちに出会えます。普段はなかなか目にしないイノシシやタヌキなどが、でっぷり太った姿を見せてくれば冬を乗り切る準備は万端です。また、サルナシやアケビの実を目当てにテンがやってくることもあります。皆たっぷり食べて脂肪を蓄え冬に挑みます。

脂肪を蓄えすぎると動けなくなってしまうのは鳥類です。重くなったら飛べません。体にもそこそこの脂肪を蓄えますが、せつせと木の実をどこかに蓄えるものや森中で木の実を探すものなど様々です。あっちこっちと大忙しです。しょっちゅうエサをついばむヤマガラやシジュウカラを目にします。

木の実が凶作の年には、夜行性の生き物でも昼間に動き回ってエサを探すので、その分目撃頻度も上がります。また、それに比例して野生動物の交通事故も増えてしまいます。今年の実り具合は一部実りが悪い種類もありますが、おおむね例年通りのようです。

この冬も動物たちは無事に乗り越えられることでしょう。(佐藤)

モミジやカエデ

山を赤や黄に染める紅葉の季節の到来です。色づく木々はあまたあれど、紅葉狩りといえば、やはりモミジやカエデを連想される方が多いようです。

「モミジとカエデはなにが違うのですか？」という質問をよく受けます。実は、モミジもカエデも分類学上の区別はありません。強いて言うならば、モミジと名の付く仲間の共通点は、葉っぱが掌のように深く切れ込み、赤く色づくこと。その代表格と言えばやはり、イロハモミジでしょう。

一方、カエデと名の付く仲間は、切れ込みが浅く、多くは黄色く色づきます。その特徴をよく示しているのがウリカエデやエンコウカエデです。



丹沢湖ビジターセンター



イロハモミジ

また同じカエデ属には、一見するとカエデの仲間と思えないような種類もあります。「メグスリノキもカエデの仲間なのですよ」とお伝えすると皆さんビックリなさいます。

カエデ属の特徴は葉っぱや枝が双子のように対につくこと。種子も対につきプロペラのような翼があること。丹沢に紅葉狩りにお越しの際には、そんな特徴のあるモミジやカエデの仲間を是非探してみてください。(長澤)

松ぼっくりとエビフライ



エビフライ全員集合!

(左から2個ずつ、モミ・アカマツ・カラマツ・スギ)

森に落ちているエビフライをみつけた事がありますか? もちろん、お弁当の落とし物ではありません。松ぼっくり(針葉樹の球果)の中に入っている種をリスやムササビが食べると・・・、あら不思議! おいしいエビフライに変身するのです。

有名なのは、アカマツぼっくりのエビフライ。登山道を歩いて、一番見かけるエビフライです。

けれど丹沢には他にも色々な種類の“〇〇ぼっくりがなる木”があります。ということは・・・そう、エビフライにも大小色々あるのです。先日、モミの大木の下でついに発見しました! モミぼっくりのエビフライ。アカマ

ツの2倍はあるロングサイズです。北丹沢などカラマツが植林されている場所では、フラダンスを踊りだしそうなミニエビフライが落ちているかもしれません。

他にも、人工林ではスギやヒノキぼっくりの食べ痕(食痕といひます。)も見かけます。スギの食痕は例えるならば、リンゴの芯・・・でしょうか?

生き物たちの大切な食べ物となっている松の実。秋は丁度、実が熟す季節です。

是非、それぞれユニークな形の松ぼっくりと合せて、食痕も探してみませんか? 「こんな物も食べるんだ!」と新たな発見があるかも知れませんよ。(柳沢)

秦野ビジターセンター



アカマツ

モミ

カラマツ

スギ

赤い実との出会いと眺望・・・初冬の畦ヶ丸登山

あぜがまる

西丹沢自然教室

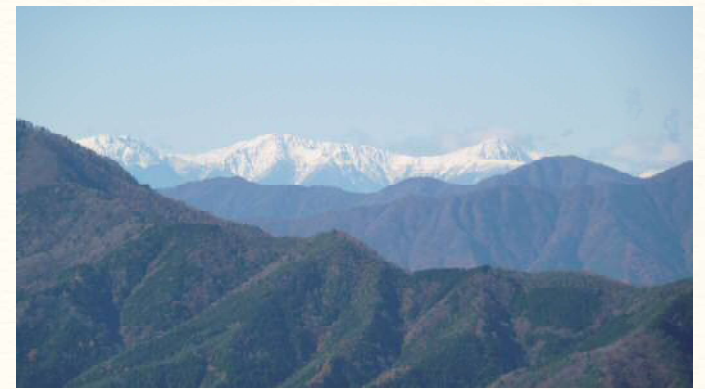
西丹沢自然教室の西に位置する畦ヶ丸(1292.6m)は、沢沿いや稜線歩く変化に富んだ登山道のある、西丹沢でも人気がある山の一つです。おすすめの登山コースは西丹沢自然教室の横にある吊り橋を起点に、西沢を経由して山頂に向い、県道76号線上の大滝橋バス停に下る反時計まわりの周回コースです。

西沢沿いの登山道では沢の音を聞きながら森の中を歩き、西沢を離れて登りとなる登山道ではミヤマシキミのきれいな赤い実の群落に出会えます。この実は毒があるので動物に食べられることは殆どありません。このため長い期間そのきれいな赤色を見られます。

木々の落葉で見通しの良くなった稜線からは西丹沢の大室山や檜洞丸、それに山梨県の山中湖方面に向かう山稜の山々を眺めることができます。特に畦ヶ丸山頂から遠くに見える雪を抱いた南アルプス白峰三山(*)には



ミヤマシキミの実



雪を抱いた白峰三山

感激されると思います。

初冬のこの時期、畦ヶ丸はいつもとは違った一面を見せてくれます。紅葉だけでなくミヤマシキミの赤い実、真っ白な南アルプスも遠くに見られる畦ヶ丸への登山は如何でしょうか。(本郷)

*: 白峰三山…南アルプスにある北岳、間ノ岳、農鳥岳の三山の総称

湖畔の紅葉



宮ヶ瀬湖畔から見る美しい紅葉

秋、誰もが出かけたくなる紅葉シーズンです。標高300mの宮ヶ瀬での見頃は11月中旬から12月初旬。宮ヶ瀬周辺でおすすめは、何といたっても宮ヶ瀬湖畔の紅葉です。とくに大淵沢から土山峠にかけては広葉樹が多く、毎年美しい景色を眺めることができます。早い時期に色づくサクラやウルシ、そしてカエデの仲間は日を追

うごとに色鮮やかになり、碧い湖面をきらびやかに飾ります。

風のおだやかな朝には、秋の光に照らされた山々の紅葉が鏡のような湖面に映り、息をのむ風景が広がります。今年の秋は、宮ヶ瀬湖畔に時がたつのを忘れるほどの紅葉をさがしにきませんか?(酒井)

全身で感じる陣馬山

朝晩の冷え込みが厳しくなるにつれて陣馬山周辺は錦秋を迎えます。植物たちは冬を迎えるため最後の輝きを増し、私たちの心をワクワク、ドキドキさせてくれます。



陣馬山登山道

色とりどりの落葉が敷き詰められた登山道では冷え込みが厳くなると、地面から霜柱が出来はじめます。その上を歩くと「カサカサ」「サクサク」と心地よい音がして、苦しかった登りもなぜか楽しくなり、いつの間にか山頂に着いてしまいます。陣馬山周辺では地面の霜柱だ

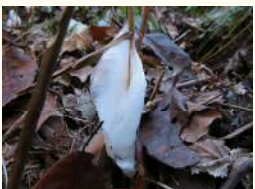
陣馬自然公園センター

けでなく、植物の茎につくシモバシラを観察することが出来ます。主にシソ科のシモバシラという植物の枯れた茎に現れる氷華(ひょうか)です。不思議で綺麗な造形は多くの人を虜にさせてしまいます。

陣馬山というと展望の山で遠くばかり見てしまうと思いますが足元もじっくり見て下さい。きっと何か発見出来るかもしれません。陣馬の自然を体いっぱい感じにお越しください。(清水)



霜柱



シモバシラについた氷華

氷華・・・植物が吸い上げた水が凍ったもの。